

# つながろう！！全国研

第58回＊全国学童保育研究集会実行委員会 広報チーム発行  
無事開催終了しました！



全国研特設HP

全国各地からたくさんの方に参加いただきました！

参加者集計

全国より**4000名**超

参加申し込みに向けて、地域での活発なお声かけにご協力いただきありがとうございました！

オンデマンド配信について

配信期間

開始 2023年11月20日(月)10:00～

終了 2023年12月4日(月)～10:00

全体会の配信が  
はじまりました！

◆参加申し込みされた方のみ視聴が可能です。

集会直前に【名鉄観光】より送信された【第58回全国学童保育研究集会当日とオンデマンド配信のご案内】というメールに記されている【オンデマンド配信のURL】をクリックしてご視聴ください。

配信期間内にご視聴ください。



※上記期間を過ぎると、視聴途中であっても、視聴ができなくなりますのでご注意ください。

※参加申し込みされた方で、名鉄観光からのメールが届いていない方は、【集会事務局】にお問い合わせください。

# 全国研の感想が届きました！



## 三多摩連協より

【全体会会場にて参加した、三多摩連協メンバーの熱い感想をお伝えします】

◆やはり会場開催はいいものでした。4年ぶり、5年ぶりに多くの方との再会を楽しみました。また、『Zoom』を通じて参加されている方々ともつながりを持つという意識がとても感じられました。歓迎行事は子どもたちの様子に加え、各地の学童保育の施設を見ることができて、とても良い試みだったと思います。

◆丸山先生の話は全く同感で、「学童保育だけが幸せ」にはなれません。日本の、世界の課題をきちんととらえたいですね。ほいく誌のアピール、おもしろかったです。とくに石川県連協の「緊急記者会見」は大いに笑いました。

◆久しぶりの会場参加に「やっぱりこれだよなあ」と、オンライン以上の元気をもらった方々も少なくなかったはず。人が集まる、顔をあわせて交流する、これが運動を進めるうえでの（というか、みんながつながるうえでの）基本です。会ったときの雑談・雰囲気・冗談などが、人を、活動を、運動をつなげるもの。実交流の輪を広げてください。また一致協力して、進めていきましょう!!



◆全国研、初参加でした！ 保護者、指導員の学童保育に関わって実感したこと、大切にしたい思いを聞いて、あらためて「学童っていいな」と感じました。そして思いを伝えあうことの大切さを感じました。会場で参加して、こんなに多くの人々の参加、つながりを感じて、明日（来週）からもがんばろうと思えました。

◆1つの場所に集まる会場開催のよさを改めて実感しました。丸山先生のお話が、とても興味深く、おもしろかったです。視点が小さい話から、最後は地球規模の大きな話まで、飽きずに聞くことができました。

◆4年ぶりに会場参加、とてもよかったです。顔をあわせることで、運動に対して、また、よりいっそう、がんばろうと思うことができました。ありがとうございました。

◆会場での参加は、やっぱりいいですね。コロナ禍でオンライン開催になっていましたが、「アフターコロナ」で、オンライン参加の技術も加わって、2年間の知恵が活かされて、パワーアップした感があります。ほいく誌のPR動画や劇もおもしろかったです。記念講演もいいですね。日頃感じていることの問題点と、共有することの大切さをあらためて感じました。丸山先生のお話は、身近な問題点、心の豊かさの育み、そして未来について地球規模で考える機会を与えられ、ハッとする講演となりました。



## 特別報告をして

福本かおり（高知県安芸市・指導員）

「福本さーん！全国連協職員の佐藤ですっ！」。電話口からいつもの佐藤さんの声。そして衝撃のご提案、「特別報告 をお願いしたいんだけども……」。私にとっての全国研は、全国各地の学童保育関係者の方々から、気づきと学びを与えていただける、貴重な学びの場。毎年行われていた特別報告でも、全国各地からの生の声に強く胸を打たれるとともに、自分自身の人生を豊かにしてくれるような、素敵であたたかなエピソードに出会えるありがたい時間でした。

そんな大舞台に、まさか私が登場させてもらえるなんて！  
いや、私でいいのか!? 一瞬にして頭をよぎる緊張と不安。  
ですが、抑えきれぬ学童保育への情熱と感謝の思いから、  
「はい！ 喜んで！」……あっという間に出了言葉でした。

指導員になってちょうど10年の節目を前に、これまでを振り返るきっかけを与えてもらいました。高知の小さな学童保育から、県内の仲間、中四国の仲間、そして全国の仲間へと、どんどん思いが繋がって、今日があります。こんな未来が待っているなんて、想像もできませんでした。緊張しきりのスピーチで、私の思いはどこまで伝えることができたろうかと不安もありましたが、皆さんからの反響にまた、喜びをもらっています。「学童って最高！ 全国研って最高!!」。ありがとうございました。



## 「はじめまして」&「明日へのチカラ」



兵庫県連事務局では、全体会を事務局で視聴し、グループ『LINE』を通じて、限定的に現地の情報を楽しみました。2日目は、2つの分科会運営を担当させていただきました。神戸市学童保育連絡会（神戸学保連）と、兵庫県学童保育指導員会の協力を得て、神戸学保連会員の共同学童保育の施設と事務所2か所に拠点を設けました。世話人やホストも担当し、事務局は極力裏方に。メンバーの健闘に「明日へのチカラ」♪

「インボイス制度」実施後、初めての全国集会。おおきく社会保障の財源とされている適格な消費税が、的確に配分され使われるよう、学童保育という窓から見つめましょう。

2024年、岡山・倉敷にgo!!



## 全体会会場でインタビューをしました！！

当日、会場に参加された方に長崎県の小平がインタビューをしました

### 【ほいく誌アピール劇に参加した俳優さんより】

#### ◆劇はどうでしたか

緊張しました。めっちゃ緊張しました。みんなであわせたのが今日初めてだったので、どうなることやらと思いました。私のセリフが飛ばされたりもしました（笑）。

#### ◆ほいく誌はうまくアピールできましたか

部数が減らなければいいなと思います（笑）。

#### ◆来年、全国研の開催地となる岡山の方に一言お願いします

「桃太郎シリーズ」で、ほいく誌のアピールはいかがでしょうか（笑）

### 【三重県津市学童保育連絡協議会のお二人より】

#### ◆全体会の感想をお願いします

\*今日の全体会は、ユーモアもあって聞きやすかったと思います。時間もあっという間に過ぎました。ありがとうございました。

\*とても分かりやすいお話で、学童保育のことがまた大好きになりました。ありがとうございました。

#### ◆来年、全国研の開催地となる岡山の方に一言お願いします

\*来年、岡山に行きます。岡山の皆さん、待っといてな！（笑）

\*岡山、楽しみにしています！





## 「指導員としての指針、あらためて確認を！」



阿久津 泰彦（宮城県仙台市・指導員）

指導員の経験は約15年になりますが、全国研への参加は今年が2回目、初参加の2022年につづき、オンラインでの参加となりました。「オンラインで全国研に参加できること」、とてもありがたく感じています。

オープニングの歓迎行事での子どもたちのはつらつとした姿を見てみると、「今年はどんなことを学べるか」とワクワクした気持ちになり、気分も上がってきます。今年も工夫を凝らしたパフォーマンスに、感心したり心から笑ったり、「子どもの可能性ってすごいなあ」と実感しました。

そして「基調報告」は、指導員の僕にとって大事なもの。これから1年、なにを目標に指導員として活動していくかの指針を確認することができるからです。「児童憲章」「子どもの権利条約」の理念を実践と運動にいかしていくことの重要性をあらためて認識できたこと。保育内容が行事化・プログラム化しているのではないかと指摘に僕自身の仕事をふり返り、ぎくりとしたこと。市連協の皆さんとの話のなかでもよく話題になる「適正規模を守ること」「支援の単位ごとに子どもの所属を明確に区分すること」「施設を整備し2人以上の指導員を配置すること」の必要性を行政に働きかける運動を強めることの大切さなどを確認することができました。



## 「全国研にきてよかった！」

加藤利江（神奈川県横須賀市・指導員）

「今年の全国研は会場開催があるって！」。そう聞いたときから、楽しみでしかたがありませんでした。

当日、地元の仲間と電車に乗りあわせるときから、ワクワクしていました。会場に入れば、これまでに研修でお会いしていた他地域の方々の姿がずらり。どなたにも、「お久しぶりです！」とお顔を見てご挨拶ができるって、あたりまえのことが、こんなにもうれしいことなのだとか心から感じました。指導員仲間は、つづけてこられたことに元気をもらい、保護者の方々はOBとなっても関わりつづけていらっしゃるからこそ、お子さんの成長された様子も聞くことができ、それだけで、「全国研に来てよかった！」と思えました。

翌日の分科会では、午後からのグループワークで少々盛り上がりすぎてしまったようにも思いましたが、裏を返せば、皆さん「聞いてほしい、話したいこと」がたくさんあり、オンラインだけでは語りつくせないものがあったのだと感じました。来年は岡山県での開催とうかがい、岡山から参加された皆さんと横断幕の前でお写真を撮り、「また来年、岡山で！」とごあいさつできたのも本当にうれしかったです。



## 「また来年もぜひ参加したい！」

河合 巨（神奈川県横須賀市・指導員）

私はコロナが広がりはじめた年に指導員になり、3年間はオンラインで全国研に参加してきました。オンラインでの参加でも、全国各地にある学童保育の出し物や、災害時に被災した地域で生活していた方々の特別報告、各分科会の講師の先生方の話を聞けるいい研究集会だったと思いますが、今年、はじめて会場で参加し、とてもおどろきました。



かねてより、会場で全国研に参加したことのある同僚から、「やっぱり会場でやりたいよね」と聞くことはありましたが、実際に参加してみて、子どもたちの出し物にその場のみんなで笑いあうことができたり、講師の方のお話がオンラインで聞くよりも、自分のなかに入ってきたりと、「会場参加だからこそ伝わってくる雰囲気や思い」を感じることができました。また、少しではありますが、全国各地から参加した指導員仲間とも話すことができ、思いがけない視点からの質問を聞いたり、多くの指導員が同じような悩みを抱えつつ保育をしていることがわかったりと、いい刺激をもらい、「また来年もぜひ参加したい」と感じました。

## 全国研ならではのエネルギーと喧噪を実感!!

嘉村祐之（岩手県盛岡市・指導員）

第58回全国研・全体会の日、私は会場のパルテノン多摩にいらした皆さんへのご案内や、受付、よろず相談を担当をしていました。

ロビーの設えの準備や路上での案内のために、朝早くから会場に集まった要員の皆さんの姿を見て、「久しぶりに会場開催での全国研に参加しているんだなあ」と実感しました。

受付が始まると、大きなキャリーバッグを引きながらコインロッカーを探す方、参加券が手元になく、会場にひかえていた受付担当・名鉄観光のスタッフの方に確認を求める方、当日受付の方などもらして、会場開催ならではの喧噪に一気に包まれました。

対応に追われているうちに、気がつくとおープニング、開会行事も終わり、丸山啓史先生の記念講演は半ばまで進んでいるようです。

今回は、オンライン視聴でも参加できる集会でしたし、集会後にはオンデマンドでの視聴もできるので、「そのときには丸山先生のお話をおちついてうかがいたいな」と期待しているところです。



## 学童保育に関わることの幸せを実感!

船曳元子（岡山県美作市・指導員）

二日間にわたる全国研……。私はオンラインでの参加でしたが、2024年開催の「岡山現地組」(?)から送られてくる写メやパソコン越しでの会場の様子から、久しぶりの臨場感が伝わってきました。

学童保育に関わる方々と共に学びつづけることの大切さはもちろん、今回はとくにそれを「明日からの保育に活かせる学び」となり得た研究集会となりました。

何気ない日常……。子どもとのやりとりや経験の重要性、記憶、ワクワクドキドキ感、楽しむ力、「三間、プラス手間、そして地域で育つ……たくさんのキーワードを頂きました。

子ども同士で育ちあえる学童保育は、本当にすてきな居場所です。そこに携われることの幸せをあらためて感じた次第です。

企画、準備、運営等に携わられた皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



ニュースNo.10へつづきます。  
お楽しみに♪

全国研特設  
ホームページ



●第58回全国学童保育研究集会についてのお問い合わせ先【集会事務局】

TEL : 03-3813-0477 (10時~17時。土日祝日休業)

Email d58zkk@xrh.biglobe.ne.jp

HP <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/zenkokuken/d58/>